

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 1 号)

平成30年10月18日発行  
 兵庫のみ研究所

穏やかな天候が続いていることもあり、二見西部以西の海域において小型珪藻のスケルトネマが多く発生しており、栄養塩の低い調査点も一部で見られました。それ以外の海域ではこれら珪藻は今のところ特に問題となる発生量ではなく、窒素は岸寄りで概ね10 μg at/L以上、沖筋で7 μg at/L以上で平年より高い値を示しています。

(水温) 漁場内平均23.1℃ (平年比-0.5℃、昨年比-0.2℃)。

(塩分) 平均30.38psu。これまでの積算降雨量が多く平年と比較しはなはだ低い。

(栄養塩、珪藻) 二見西部以西の海域で小型珪藻のスケルトネマが多く発生している。二見～別府周辺にかけては海水1mlあたり1000細胞前後と多く、高砂や上①地点においては赤潮(海水の着色)として視認され海水1mlあたり5000細胞とかなり多い状況。その海域では窒素は2 μg at/L台と低いがリンは十分量であった。魚住以東の海域においてもスケルトネマは海水1mlあたり100～300細胞と発生が確認されている。

(その他) 透明度は林崎沖～明石海峡で3.0～5.0m、それ以外で2.0～3.0m。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温		23.1	23.6	23.3
窒素		9.1	5.3	7.5
リン		0.69	0.61	0.73

(10/16)

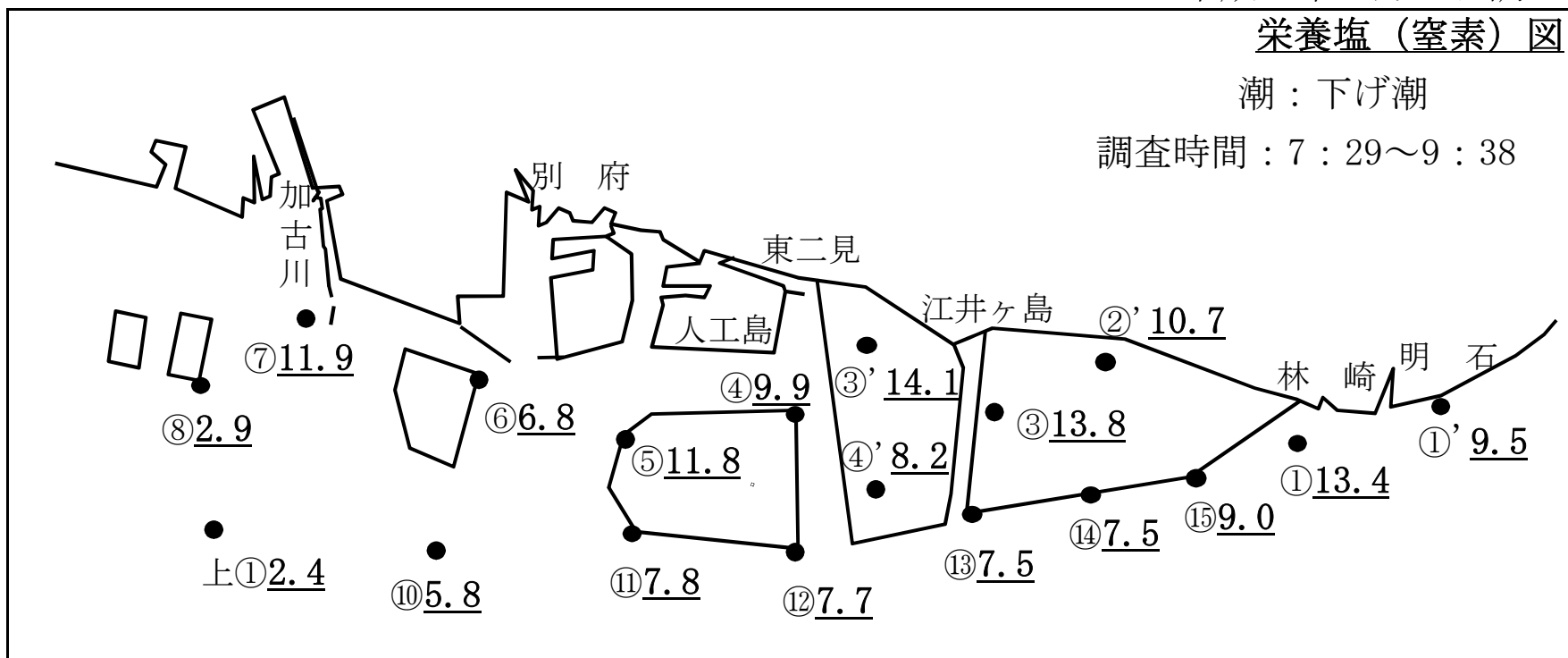
西播地先 (10/12採水)			
伊保地		伊保沖	
	窒素 10.8		窒素 11.0
	リン 0.93		リン 0.88
白浜地		白浜沖	
	窒素 9.8		窒素 10.5
	リン 1.38		リン 0.86

平成30年10月18日調査

## 栄養塩(窒素) 図

潮：下げ潮

調査時間：7:29～9:38



## 水温図

